

事務系若手社員18人 舗装現場の実情学ぶ

前田道路が見学会

前田道路は1月25日、川崎市川崎区の道路舗装現場で入社3年未満の事務系若手社員を対象に現場見学会を開いた。18人が参加し道路舗装の内容や役割、技術などを学び、アスファルトフィニッシャーを使った敷きならしやロードローラーによる転圧作業も見学した。

見学会は事務系社員にも

現場の実情を知ってもらおうと、同社西関東支店が施工している「R4国道357号浮島地区外改良舗装そ



転圧作業を見学する参加者

の2工事」（国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所発注）で行った。

現場事務所でオペレーターやアジャスターマンなどの仕事内容、施工現場で使用する敷きならし用機械や転圧機械の説明を受けた。参加者からは切削をはじめ道路修繕工事の施工方法など技術面も含め多くの質問が上がった。現場ではトータルステーションを用いたICT施工も見学し「現場が抱える課題を理解できた」「工事に触れる機会は

貴重で有意義だった」などの感想が寄せられた。

現場代理人を務める古館知武氏は「事務系社員はこのような機会がなければ現場の知識を得ることが難しい。技術職と事務職がお互いの仕事内容を理解し、協力することで会社が一つにまとまればうれしい」と期待を寄せた。作業所には「快適トイレ」も設置。参加した女性社員は「とても使いやすく、仕事のモチベーションが上がる」などと話していた。

